

平成 18 年 11 月 15 日

各 位

会 社 名 アールビバン株 式 会 社
 代表者名 代表取締役社長 野澤 克巳
 問合せ先 経営企画室長 栗田 実
 電話番号 03 - 5159 - 7177
 (コード番号 7523 JASDAQ)

業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

当社は、平成 18 年 5 月 23 日の決算発表時に公表した平成 19 年 3 月期中間業績予想について、下記の通り修正すると共に、同中間期における特別損失の発生についてお知らせいたします。

記

1. 平成 19 年 3 月期 中間連結業績予想の修正等 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	5,300	640	310
今 回 修 正 (B)	5,120	480	490
増 減 額 (B - A)	180	160	800
増 減 率	3.4%	25.0%	-
[参 考] 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月中間期)	5,352	971	214

2. 平成 19 年 3 月期 中間単独業績予想の修正等 (平成 18 年 4 月 1 日 ~ 平成 18 年 9 月 30 日)

(単位:百万円)

	売 上 高	経 常 利 益	中間純利益
前 回 予 想 (A)	2,870	14	8
今 回 修 正 (B)	2,600	110	1,030
増 減 額 (B - A)	270	124	1,038
増 減 率	9.4%	-	-
[参 考] 前 期 実 績 (平成 18 年 3 月中間期)	3,522	374	115

3. 特別損失の発生及びその内容

アート関連事業の販売状況は今後も厳しい状況が続くと判断し、市場環境の変化による販売方針等の見直しに伴い、商品の評価を見直した事により、平成 19 年 3 月期中間決算におきまして、商品評価損 648 百万円を計上する見込みであります。

4. 修正理由

売上高につきましてはアート関連事業のうちスタンダードアート部門の夏場の催事が低調だった事や、リゾート事業において客室稼働率が伸び悩んだ事等の理由により、連結・単独売上とも当初予想を下回る見込みであります。

経常利益につきましては、固定費圧縮に努めたものの、広告宣伝費や会場費が計画を上回った事等により、前回の業績予想に対し連結で 160 百万円減の 480 百万円、単独では 124 百万円減の 110 百万円となる見込であります。

中間純利益につきましては、商品評価損 648 百万円を特別損失に計上する事等により、前回の業績予想に対し、連結で 800 百万円減の 490 百万円、単独では繰延税金資産 178 百万円を取崩したことにより、1,038 百万円減の 1,030 百万円となる見込みです。

なお、通期の業績予想の見通し（連結・単独）につきましては、中間決算発表時にお知らせする予定であります。

以 上